

志賀原子力発電所2号機 原子炉格納容器内での溢水について

平成21年9月28日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所2号機（第2回定期検査中）において、9月26日10時30分頃、原子炉ウェル¹を洗浄した水の残水を原子炉格納容器内のサンプル（溜めます）へ排水していたところ、サンプルに流入した水が溢れ原子炉格納容器内の床面に広がりました。

直ちに排水作業を中止するとともに、溢れた水については回収しました。

床面の水の量は約7.2リットル、放射エネルギーは約1.2万ベクレルでした。

本事象による外部への放射能の影響および作業員の被ばくはありません。

原因は、作業手順書において排水作業時の残水量が明確でなく、サンプルの容量を上回る残水が流入したことによるものです。

今後は、サンプルへの流入が多量とならないよう、残水量の上限を作業手順書に明記します。

また、類似の作業の手順書においても問題がないか確認いたします。

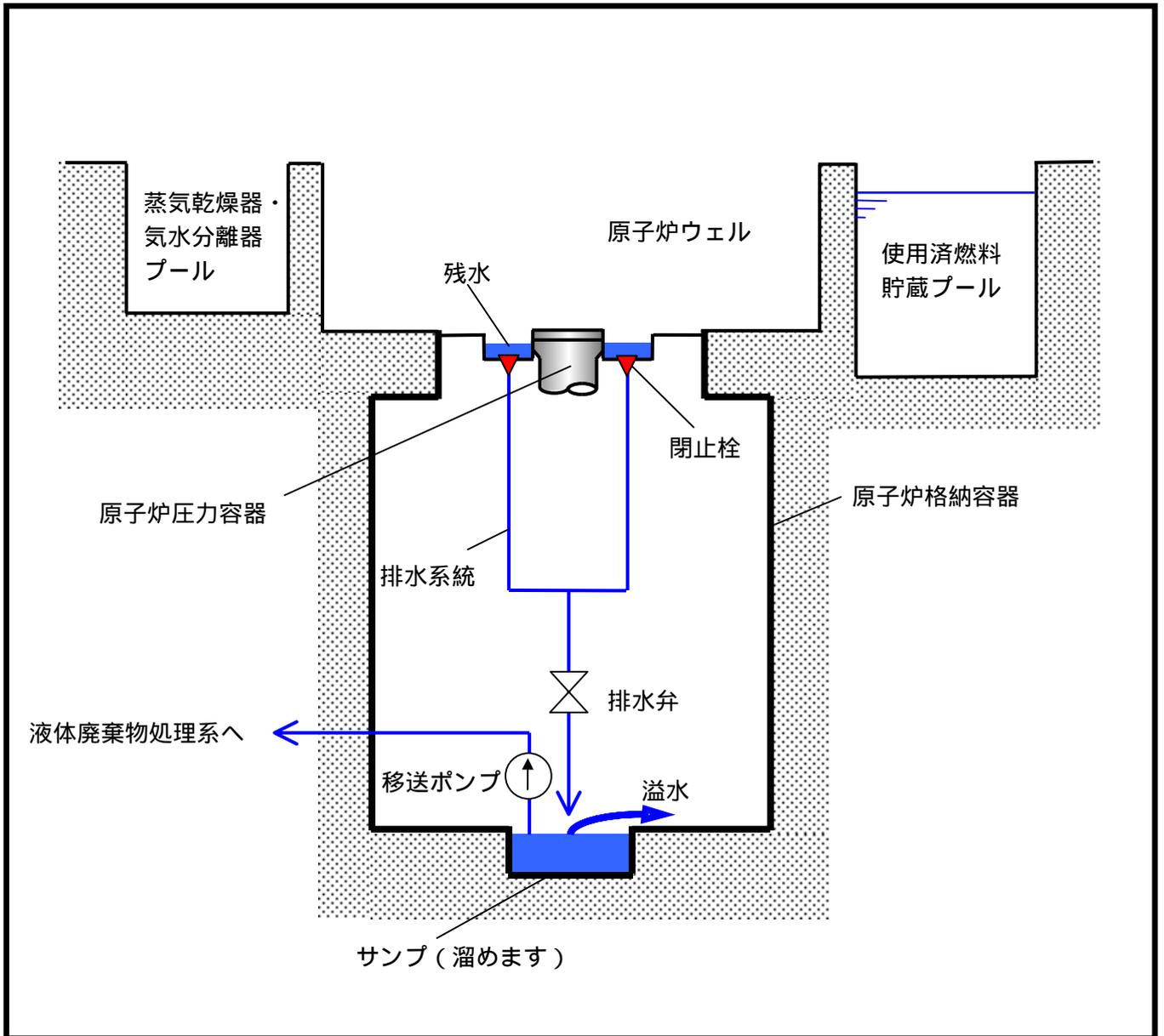
本件は、法令および安全協定には該当しませんが、石川県および志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に基づき、本日、当該自治体に連絡しました。

以上

添付資料 志賀2号機 原子炉格納容器内での溢水 概要図

1 原子炉ウェル

原子炉内の機器点検作業等を実施するにあたり、原子炉内からの放射線を遮へいするために水を貯留する原子炉上部の空間部



志賀2号機 原子炉格納容器内での溢水 概要図